

令和元年度 筑前町立東小田小学校 学力向上プラン

■視点1-②

《中期目標》 主体的に課題を追求し、根拠をもとに論理的に考え表現できる子どもの育成
 <成果指標> ◆令和4年度の全国調査結果（同一集団の比較でC層・D層合算の割合－10%）

《短期目標》 「書く」「話す」活動を通して自分の考えを論理的に伝える子どもの育成
 <成果指標> 令和2年度の県学力調査結果（同一集団の比較でC層・D層合算の割合－10%）

■視点5

【家庭・関係機関との連携】

〈取組（指標）〉

- 中学校区の小学校で共通確認した家庭学習の手引きを夏休みまでに完成
- 家庭学習強化週間（小中連携）の充実（年4回）
- 地域ボランティアを活用した補充学習（6月から実施）

〈成果（指標）〉

- ◆家庭学習がんばり表で目標達成率 90%以上

■視点2

【授業づくり】

〔自分の考えを論理的に伝える力の育成〕

〈取組①（指標）〉

- 国語科において、1単位時間に位置づけられた「書く」「話す」活動を、単元を通して繰り返し行う

〈成果①（指標）〉

- ◆児童による授業評価（生活アンケート「自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりする授業が楽しい」80%以上）

〈取組②（指標）〉

- 国語科を中心とした各教科、領域において、自分の考えを根拠をもとに筋道立てて書いたり、話したりする活動を実施する

〈成果②（指標）〉

- ◆児童による授業評価（生活アンケート「自分の考えを書くことができた」「自分の考えを話すことができた」80%以上）

■視点4

【教員の意識・指導力の向上】

〈取組（指標）〉

- 「書く」「話す」活動の共通認識を図る。
- 書く時間の設定（今日の学習で）
- 校内研修の充実
 - ・研修の日常化
 - ・模擬授業→研究授業→整理会の徹底

〈成果（指標）〉

- ◆教員アンケート（「子どもが考えを発表する場を作り、多様な考えが出るようにしている」3.2以上：4段階評定尺度）

■視点3

【学力基盤づくり】

〈取組（指標）〉

- スピーチタイムの実施（月・火・水曜日の朝活…学年部のテーマを職員室前方に掲示して確実に実施）
- 宿題の工夫…国語：言語事項プリント（毎日）○国語コーナー・国語ノートコーナーの定期更新（職員室前廊下）
- 放課後補充学習（毎週2回：C層・D層対象）による基礎基本の定着

〈成果（指標）〉

- ◆標準学力テスト言語事項の80%達成

■視点1-①

H30・H31全国学力・学習状況調査結果から見た課題					要因（授業づくりやその他学校の学力向上の取組）	
H30 標準化得点	国語A 96	国語B 110	算数A 102	算数B 101	・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くの正答率29%（H31）	・語彙力が不足しているため、何が問われているか理解できない。
H30 質問紙調査	・寝る時刻の課題が顕著 ・「自分で計画を立てて勉強する」に課題がある。 ・話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりできている。県・全国平均（－15ポイント）				・自分の考えを「書く」「話す」活動の授業への位置づけがない。	・話し合い活動が考えを出し合うだけで終わっている。
					・宿題の内容が学級によってばらつきがある。	・最後まであきらめずに努力する学級風土づくりが不十分。